



4年生「体験グローバル」SGH企業訪問（実地調査） 実施報告

日時：2018年8月2日

場所：株式会社エフピコ 福山リサイクル工場

参加者：生徒38名，引率教員2名

実施内容

株式会社エフピコの企業訪問では、福山市箕沖町にある福山リサイクル工場を訪ねました。

初めに、工場の概要についてお話をいただきました。本工場は平成5年に建設されたそうですが、その建設費は当時の利益を上回るもので、背景には会社の大きな決断があったことを教えていただきました。また、企業のトレー不買運動や、環境問題が要因となった消費者運動を乗り越えてこられた経験から、常に消費者に向き合うことが、事業や会社の成功につながると説明していただきました。訪問の前に、生徒たちから質問リストを渡していましたが、エフピコさんが実践しておられる「リサイクル」、「企業の海外進出」、「地域活性化」、「設備投資」、「障がい者雇用」などの観点から、丁寧にお話の中に含めていただきました。

次に、リサイクル工場の内部の見学を行いました。そこでは、スーパーで回収されたトレーや容器が、再生原料に戻る過程を見学しました。工場では約600t/月ものトレーの分別が、機械や手作業によって迅速かつ正確に行われていました。しかしながら、トレーや容器の回収率はまだまだ高くないようです。今回のような工場訪問を通して、一人でも多くの方がトレー回収に協力していただければとお話をされていました。またその際、「爪楊枝が刺さったり、手で割れたりする容器は回収できる。しかし、即席めんや納豆の容器は例外。」ということを強調されていました。容器の種類によっては再生不可能であり、それらは、他の工場で固形燃料等へのリサイクルが行われるようです。生徒たちは、時折メモをとりながら、工場の作業風景を真剣に見ていました。またリサイクルについての関心も高まったようで、「家に帰ってトレーが無いか探してみよう」という声も聞こえました。

工場案内の最後に紹介された「蒸せるんです」というレンジパックは、これを使えば簡単に蒸し料理をつくることができ、その料理のレシピがクックパッドでも紹介され、広く利用されるようになったということです。このように、様々なニーズに合わせた製品開発が行われており、1年間で約1,500種類もの商品が開発されていることを聞き、生徒たちもその開発力に驚いていました。



〔生徒の感想〕

- エフピコを訪問してわかったのは、エフピコがオンリーワン、ナンバーワン企業であるのは理由があるということだということです。トレーをリサイクルするという創業者のアイデアの裏側には、トレーを作る会社の責任感や、クレームを避ける工夫など、様々なことが関係していました。
- エフピコの環境に対する諸所の行動は、決して中途半端な意思で行われているのではありません。環境とコンプライアンスに配慮した経営を行い、世の中の賛同をより多く得ることの方が、より将来の売り上げにつながるからやっているわけで、これは大義に沿っています。説明してくれた方は、企業防衛だと明かしてくれました。でももうからなければ経営は成り立たないわけで、潔いとも感じました。
- 会社は自分たちの利益だけでなく、環境保護や社会貢献を目指している。社会全体が、ごみの削減や二酸化炭素の排出量の削減を目指しているので、その動きとうまく提携すれば、地域や国の活性化とつながるのではと思いました。
- 私たちが普段目にするスーパーなどにおいてある回収ボックスは、実は店がお金を出して設置しているという話を聞いて、地球環境のために、協力している人がいるのだと思いました。温暖化などの問題が深刻化している中で、積極的に解決に向けて動く姿勢がすごいと感じました。
- リサイクルの技術は海外ではあまり意味がないことがわかりました。海外では原料が安価で調達できるし、輸送コストを考えれば利益が見込めないのです、リサイクルの需要が無いそうです。
- リサイクルは、資源の節約や、環境保護につながるが、それ以外にも食品ロスを減らすことも意識して商品開発がされていることがわかった。例えば肉のトレーの色を黒を基調としたデザインにする。卵の鮮度に関係なくでてくるシミを隠すためにピンクのバックにしてシミを目立たなくする。刺身のトレーに凹凸をつけて、大根も食べてもらえるようにする。こういう例はすべて食品ロスを減らすことにつながると実感できた。環境に対する取り組みは大切だと思った。
- 今回の訪問で、実際に工場を訪れたことで、障害者雇用率が高いことがよくわかりました。一見ただけではわからないほど、普通に働いておられたので、私が以前勝手に抱いていたイメージとまるで違って、驚きました。エフピコは、障害を持った人たちが働きやすい環境作りという面でも優れていると思いました。
- 障害者雇用に力を入れていたので、障害を持った人たちに、よい職場環境だと思う。障害者だけでなく、他の社会的弱者、例えば女性などはどういう雇用になっているのか気になりました。
- 石油以外を原料として容器を作ることは可能だと聞いたので、もし新しいトレーを考えるとしたら、どのようなものにしていくかを考えてみたいです。また、トレーの回収率は約 25%だそうですが、まだまだ上げられると思います。そのためには、何をしていく必要があるのかを考えていきたいです。エフピコに私たちが提案できたら面白いなと思いました。

